

※今回の調査は熊本地震発生前に行われたものであり、熊本地震の影響は反映されておりません。

全業種 回答数373社

今期の実績（1-3月期） **業況D・Iは▲15.3。前期より悪化し8期連続でマイナス。**
 来期の見通し（4-6月期） **業況D・Iは▲13.7。来期は僅かに改善見通し。**

業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年		平成27年		前期実績		今期実績	来期見通し
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平成28年1-3月	4-6月
業況	▲9.7	▲7.1	▲3.7	▲8.8	▲6.2	▲0.8	▲15.3	▲13.7
売上	▲1.3	▲1.0	▲2.4	▲6.6	7.0	5.8	▲7.8	▲10.5
収益	▲7.1	▲8.7	▲8.1	▲10.3	0.0	1.9	▲11.8	▲15.1
資金繰り	▲10.2	▲9.7	▲11.5	▲6.4	▲7.8	▲10.3	▲11.8	▲12.1
在庫	1.7	1.4	0.6	1.7	1.8	2.6	3.8	2.1
設備	▲9.4	▲10.1	▲9.3	▲7.3	▲6.8	▲11.8	▲11.4	▲10.3
人手	▲20.1	▲27.2	▲25.7	▲20.2	▲25.0	▲30.2	▲29.0	▲26.6

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

へきしん取引先 景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

- 調査実施時期 平成28年3月1日～7日
- 調査対象企業 373社
- 調査対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

業種構成

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設不動産業	その他	合計
企業数(社)	149	32	78	32	81	1	373
構成比(%)	39.9%	8.6%	20.9%	8.6%	21.7%	0.3%	100.0%

製造業
回答数149社

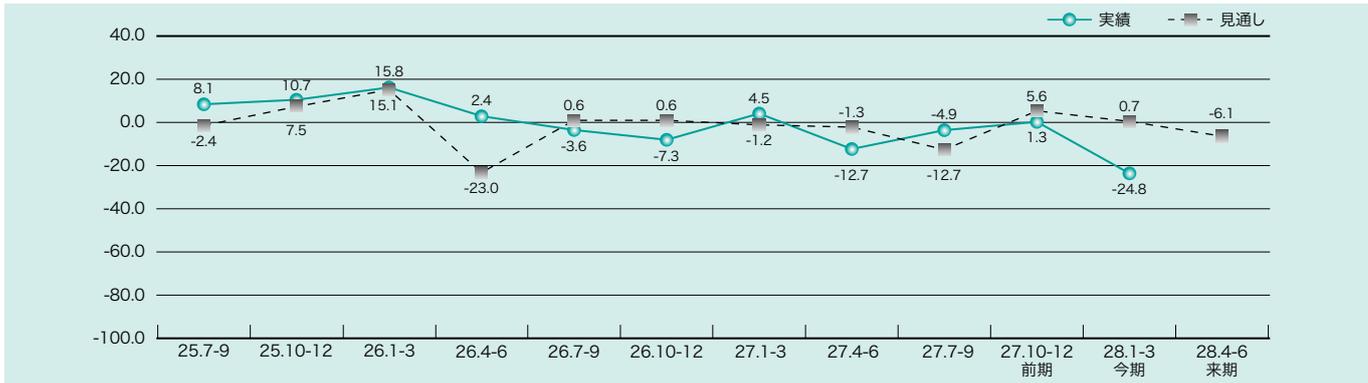
今期の実績（1-3月期）

業況D・Iは▲24.8。前期より大幅に悪化しマイナスに転じる。

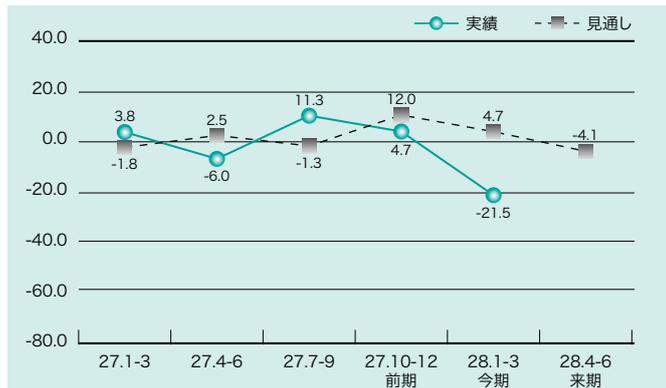
来期の見通し（4-6月期）

業況D・Iは▲6.1。来期は大幅に改善見通し。

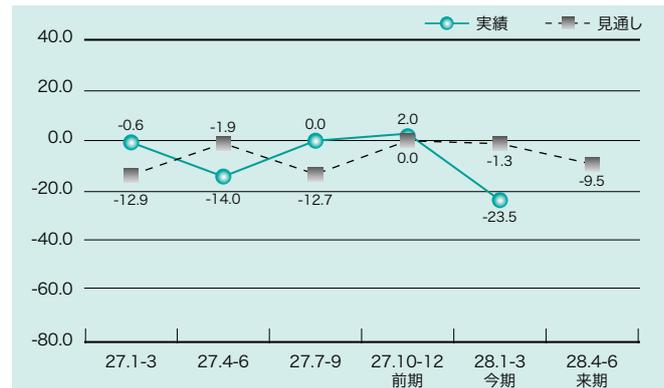
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



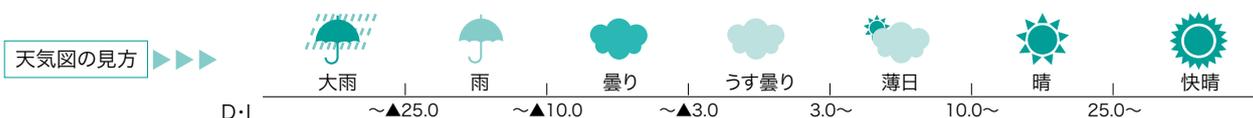
収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年			平成27年			平成28年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
業況	▲3.6	▲7.3	4.5	▲12.7	▲4.9	1.3	▲24.8	▲6.1
売上	7.8	▲1.8	3.8	▲6.0	11.3	4.7	▲21.5	▲4.1
収益	▲3.0	▲9.8	▲0.6	▲14.0	0.0	2.0	▲23.5	▲9.5
資金繰り	▲2.4	▲3.7	▲5.1	▲9.3	▲7.7	▲8.1	▲12.1	▲6.1
在庫	6.0	0.6	0.6	1.3	0.7	2.7	4.7	2.0
設備	▲13.3	▲11.0	▲8.9	▲10.7	▲7.0	▲14.8	▲10.1	▲8.8
人手	▲14.5	▲27.4	▲29.3	▲14.7	▲22.5	▲28.9	▲24.8	▲24.3

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



<D・Iとは> D・Iとは業況(業界の景気)を判断するための指数であり、次の計算式で求められます。
D・I(ディフュージョン・インデックス) = 業況判断指数 = (良い又はやや良いと答えた割合) - (悪い又はやや悪いと答えた割合)

卸売業
回答数32社

今期の実績（1-3月期）

業況D・Iは▲6.3。前期より悪化しマイナスに転じる。

来期の見通し（4-6月期）

業況D・Iは▲18.8。来期はさらに悪化見通し。

業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年		平成27年		前期実績		今期実績	来期見通し
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平成28年 1-3月	4-6月
業況	▲ 3.0 	16.7 	5.4 	▲ 3.0 	▲ 5.9 	3.1 	▲ 6.3 	▲ 18.8
売上	▲ 6.1	33.3	16.2	▲ 9.1	▲ 17.6	9.4	3.1	▲ 21.9
収益	▲ 18.2	19.4	0.0	▲ 15.2	▲ 2.9	15.6	3.1	▲ 28.1
資金繰り	0.0	0.0	▲ 16.2	▲ 3.0	▲ 2.9	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.4
在庫	15.2	16.7	0.0	3.1	14.7	12.5	9.4	6.3
設備	▲ 3.0	▲ 11.1	▲ 13.5	▲ 6.5	2.9	▲ 6.3	▲ 16.1	▲ 16.1
人手	▲ 30.3	▲ 36.1	▲ 24.3	▲ 12.1	▲ 20.6	▲ 43.8	▲ 34.4	▲ 25.0

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

小売業
回答数78社

今期の実績（1-3月期）

業況D・Iは▲21.8。前期より悪化。

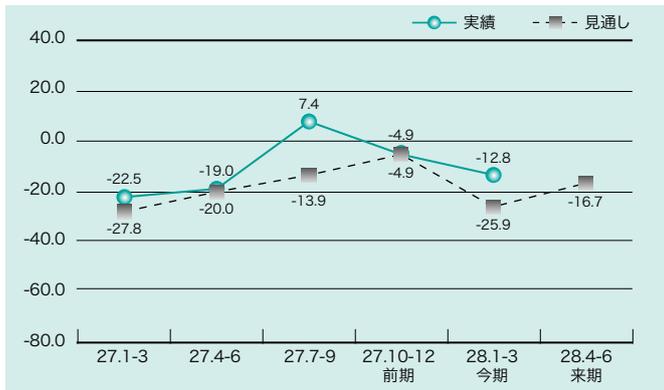
来期の見通し（4-6月期）

業況D・Iは▲26.0。来期見通しはさらに厳しい。

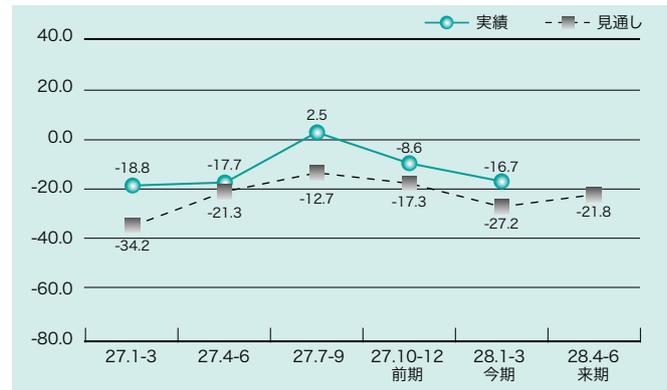
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年		平成27年		前期実績		今期実績	来期見通し
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平成28年 1-3月	4-6月
業況	▲ 37.0 	▲ 25.3 	▲ 25.0 	▲ 20.3 	▲ 12.3 	▲ 9.9 	▲ 21.8 	▲ 26.0
売上	▲ 23.5	▲ 11.4	▲ 22.5	▲ 19.0	7.4	▲ 4.9	▲ 12.8	▲ 16.7
収益	▲ 27.2	▲ 22.8	▲ 18.8	▲ 17.7	2.5	▲ 8.6	▲ 16.7	▲ 21.8
資金繰り	▲ 25.9	▲ 22.8	▲ 20.0	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 18.5	▲ 24.4	▲ 21.8
在庫	0.0	7.6	3.8	7.6	8.6	9.9	10.3	6.4
設備	▲ 12.3	▲ 12.7	▲ 11.3	▲ 7.6	▲ 4.9	▲ 11.1	▲ 11.5	▲ 10.3
人手	▲ 19.8	▲ 16.5	▲ 18.8	▲ 22.8	▲ 21.0	▲ 18.5	▲ 17.9	▲ 16.7

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

サービス業
回答数32社

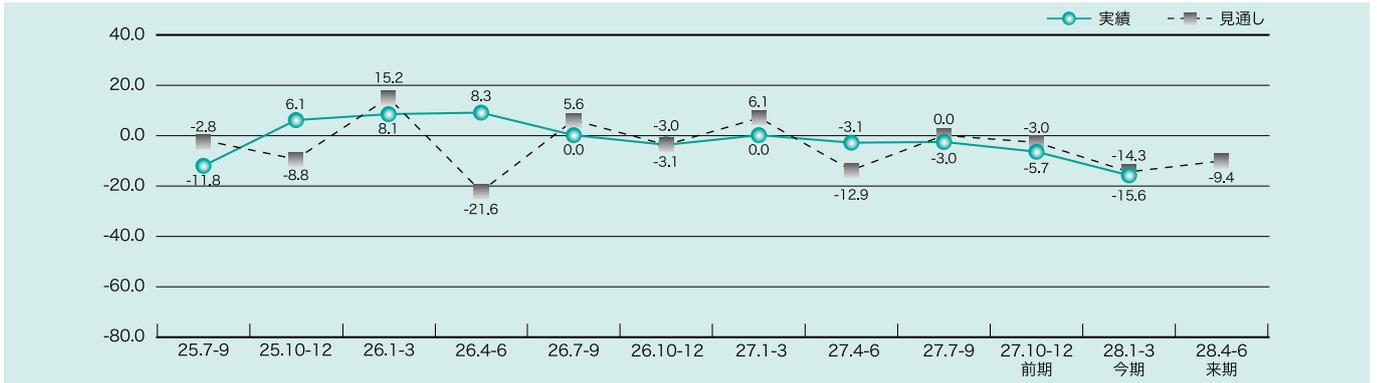
今期の実績（1-3月期）

業況D・Iは▲15.6。前期より悪化し4期連続でマイナス。

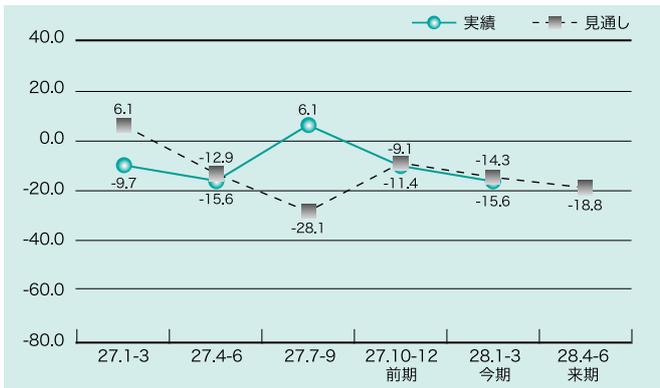
来期の見通し（4-6月期）

業況D・Iは▲9.4。来期は改善見通し。

業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年		平成27年		前期実績		今期実績	来期見通し
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平成28年 1-3月	4-6月
業況	0.0	▲3.0	0.0	▲3.1	▲3.0	▲5.7	▲15.6	▲9.4
売上	0.0	6.1	▲9.7	▲15.6	6.1	▲11.4	▲15.6	▲18.8
収益	3.1	▲12.1	▲9.7	▲6.3	0.0	▲14.3	▲18.8	▲25.0
資金繰り	▲18.8	▲15.2	▲6.5	3.1	▲6.1	▲14.3	▲9.4	▲28.1
設備	▲3.1	▲12.1	▲12.9	▲3.1	▲21.2	▲12.1	▲13.8	▲17.2
人手	▲28.1	▲30.3	▲25.8	▲28.1	▲39.4	▲34.3	▲40.6	▲46.9

(注) 設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

建設・不動産業 回答数81社

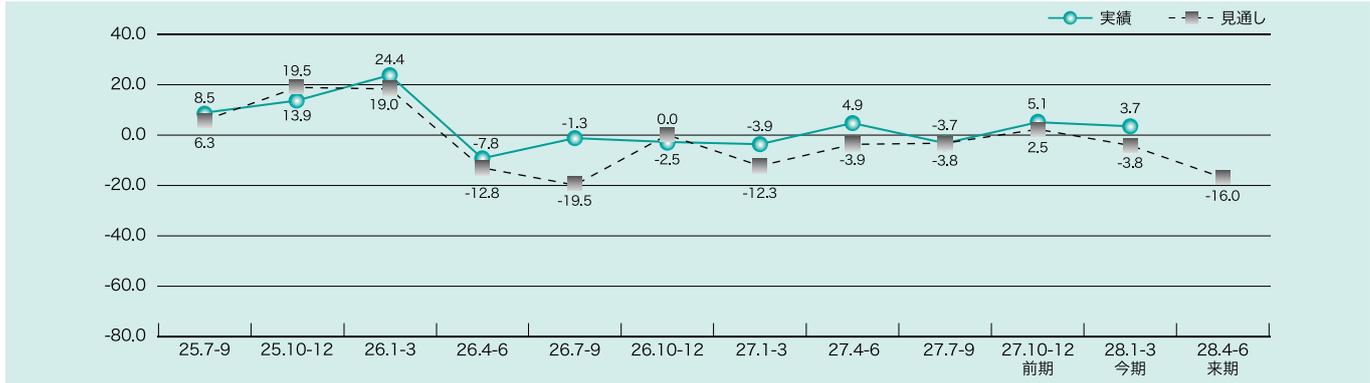
今期の実績（1-3月期）

業況D・Iは3.7。前期より僅かに悪化。

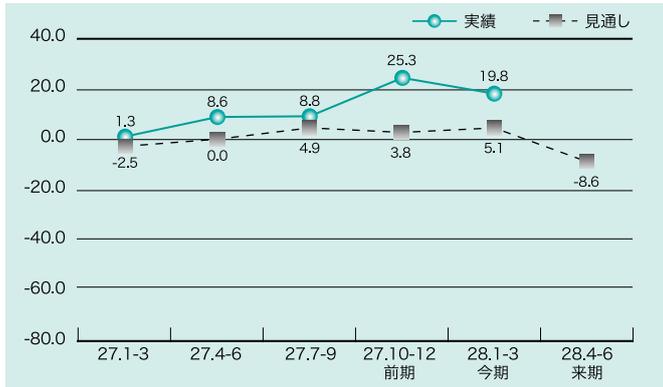
来期の見通し（4-6月期）

業況D・Iは▲16.0。大幅に悪化見通し。

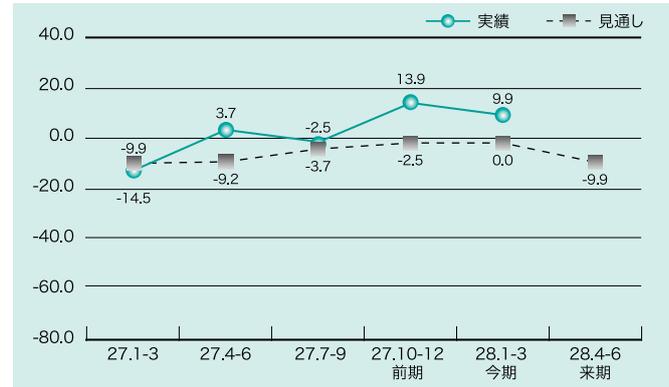
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成26年		平成27年		前期実績		今期実績	来期見通し
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	平成28年 1-3月	4-6月
業況	▲ 1.3 	▲ 2.5 	▲ 3.9 	4.9 	▲ 3.8 	5.1 	3.7 	▲ 16.0
売上	2.5	▲ 8.6	1.3	8.6	8.8	25.3	19.8	▲ 8.6
収益	3.8	▲ 4.9	▲ 14.5	3.7	▲ 2.5	13.9	9.9	▲ 9.9
資金繰り	▲ 11.4	▲ 12.3	▲ 15.8	7.4	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 2.5	▲ 9.9
在庫	▲ 11.8	▲ 9.9	▲ 2.6	▲ 3.8	▲ 8.8	▲ 9.1	▲ 6.3	▲ 3.8
設備	▲ 1.7	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 1.6	▲ 6.6	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 6.5
人手	▲ 25.3	▲ 32.1	▲ 26.3	▲ 28.4	▲ 30.0	▲ 38.0	▲ 39.5	▲ 33.3

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。